

事業所名

1st FILLTURE

支援プログラム

作成日

R7年

3月

10日

法人（事業所）理念	1st FILLTUREの理念は、「親子が満たされる未来 ~Fill Future~」を掲げ、親子目線（子ども1st&親1stの視点）を重視しています。親子が最初（1st）に安心してつながれる場所として地域に根ざし、児童福祉事業を通じて地域福祉に貢献する事業所を目指します。														
支援方針	『認知能力』と『非認知能力』の双方を高めるために、質の高い運動あそびを通じて、発達の土台となる『こころ（愛着形成）』と『からだ（感覚統合の視点）』を育みます。環境設定や良い行動を促す関わり（ABAの視点）を取り入れ、子どもたちの発達を促進します。 また、ポーターの発達段階に応じた課題リストを、行動の機能や分類に基づいて再構築した俯瞰図を用い、一人ひとりの発達段階を可視化しながら、達成可能な課題に取り組みます。 さらに、子どもの生活の中心である地域で輝く力を育むため、家庭・療育・地域（幼保育施設・医療機関等）が連携し、共通理解を深めながら子育てをサポートします。														
営業時間	8時	30分	17時	30分	送迎実施の有無		あり 対象エリア(おゆみ野近辺・ちはら台・誉田など片道20分内)								
支援内容															
支援形態	個別指導(50分) 対象:0歳~就学前					小集団クラス(95分) 対象:2歳~4歳 定員:4名 曜日:(月)火(木)			就学準備クラス(95分) 対象:年中長 定員:6名 曜日:(月)火(木)						
支援の流れ	健康管理		【入室時】検温・手指消毒 【適宜】手洗い・室温調整・換気・水分補給など			健康管理		【入室時】検温・手指消毒 【適宜】手洗い・室温調整・換気・水分補給など			健康管理		【入室時】検温・手指消毒 【適宜】手洗い・室温調整・換気・水分補給など		
	25分	運動あそび	SI遊具を使用した運動			10:30	運動あそび	感覚統合(SI)遊具を使用した運動			14:45	運動あそび	感覚統合(SI)遊具を使用した運動		
	25分	個別学習	個の発達段階に応じた課題			11:00	個別学習	個の発達段階に応じた課題			~	個別またはペア学習(15分~20分)	個の発達段階に応じた課題(5領域) 就学に向けた課題		
		生活スキル	トイレや身支度の練習			11:15	集団活動	注目課題・集団あそび・運動課題			15:30	集団活動	注目課題・集団あそび・運動課題		
	月 9:00	火 9:00	水 9:00 10:30	木 9:00	金 9:00 10:30 14:15 15:30	土 9:00 11:00 14:00	11:30	おやつ	コミュニケーション			15:45	おやつ	コミュニケーション	
						11:55	生活スキル	リラックスタイム 身辺自立			16:10	生活スキル	リラックスタイム 身辺自立		
プログラム	運動あそび					個別学習			集団活動			おやつ		生活スキル	
プログラム内容と5領域の関連	大型のトランポリンやスウィングなど感覚統合(SI)理論に基づいた遊具での運動やボール等を使った運動あそび					主に机上課題を実施、個別の課題リストから個の発達段階に応じた課題を提供			注目課題や集団遊び、サーキット(SST・順番ルール・他者との協調)			コミュニケーション(要求表現・意思表示・選択)		身辺自立(構造化) リラックスタイム	
本人支援(5領域)	健康・生活	SI遊具での適切な運動で心身の発散から自立神経を整え、睡眠の質を高めるなど生活習慣を整える他、体力の向上や姿勢改善を図り、怪我を予防する。				体軸体操を通して、姿勢改善を図りながら机上の姿勢保持を促す。手先を使う課題や模倣課題で、食事・着替え・排泄等の生活動作を身につける。			スケジュールの構造化で見通しが持てるようにする。			手洗い・手拭きの習慣 小魚等で咀嚼の向上 テーブル拭き・トレイ運び		排泄の習慣 身支度のスキル 休息で心身の調整	
	運動・感覚	サーキットで運動能力の向上やバランス感覚の強化を図る。感覚統合(SI)理論に基づいた遊具で、触覚、前庭覚、固有覚を刺激し保有する感覚の活用を図る。過敏や鈍麻など感覚の特性へ必要に応じた刺激量を調整。				運動課題や粗大模倣・微細模倣で身体の再現性や手足の協調性を高める。机上課題では足台を活用し正しい姿勢で学習できる環境を整える。			注目課題では、注意力を高めるための感覚入力を適切に行う。サーキットを含む集団運動活動でジャンプ、回転、バランスなど移動能力の向上を図る。			口辺模倣や口唇訓練で運動機能の向上 味覚や食感の違いを感じる		上肢・下肢の協調運動を促し、日常生活動作(ADL)の向上を支援	
	認知・行動	運動遊びから興味関心を引き出し、行動の選択肢を広げる。半円や三角形の立体遊具の組み合わせを考え思考力や空間認知力を育む。スウィングの傾きや揺らし方、姿勢を変え感覚の違いを理解し身体イメージを強化する。				机上課題で色・形・数量などの概念を学習し、日常生活での判断力や問題解決力を強化する。視覚支援教材や触覚教材で手先の課題を実施し、集中力や記憶力を高める。			サーキットを通し、順序や方向(前後・左右)距離感など空間認知や順番待ち、役割分担などの活動を通じ、時間概念の理解を深める。			選択肢を与え、自己決定を促進。感覚と認知の結びつきを強化する。		排泄など認知から行動への移行をサポート 覚醒状態の調整	
	言語・コミュニケーション	遊びの中から子どもの興味を引き出し、やりたい遊びを支援者に要求する。体の動きを言葉で説明するなど、感覚体験と言葉を結びつけることで、語彙の習得を支援。				絵カードを使ったやりとりを行い、質問理解と回答の練習を繰り返す。受容言語の課題で言葉の概念を獲得し、表出言語と繋げていく支援。読み書き能力の向上。			集団活動で他者との共同注意や相互理解を促進。人との相互作用によるコミュニケーション能力や役割活動や集団遊びで、具体的な言葉を獲得。			配膳の役割やお店屋さんごっこを通じ、「○○ください」「ありがとう」など基本的な会話能力を養う。		拭いてなど簡単な指示理解 困った時の援助要求を促す	
	人間関係・社会性	子どものやりたい遊びを認め、主体性やできたことを褒めて伸ばすことで愛着形成を育む。子どもと同じ目線で遊びを行い安心感を育む。				個別指導で安心できる関係を築き、困ったときに大人を頼る力を養う。模倣の課題から模倣力を強化。レベルに応じた課題で、自己理解を深め、気持ちの整理をサポート。			ペア活動や集団遊びを通じて、他者と協力し目標を達成する力や仲間意識を養う。			順番を守る、配膳を手伝う、挨拶など協調性の獲得。分け合う経験を通じて、他者を思いやる心を育む。		成功体験を積み、自己肯定感の向上 感情の調整	
家族支援	支援場面を共有しながら子育てに関する困りごとや発達の気づきへの助言を行う。所属先の保育園等連携し情報共有しながら安心して子育てをサポートする。きょうだい児の相談と一緒に遊べる場を提供する。					主な行事等		地域支援・地域連携		子どもを取り巻く関係機関(幼保・相談支援や他の療育事業所・医療機関等)との連携を図り、子どもの特性や能力の共通理解や地域の中で成長できる基盤を構築する。					
移行支援	保育所・学校等への円滑な移行を支援する。地域社会とのつながりを促進し、仲間づくりを支援する。障害の有無に関わらず、施設の無料開放や子育て相談などを通じて安心して親子が共に成長できる場を提供する。退所後は同窓会の機会を提供。					親子ひろば つどいのひろば		職員の質の向上【研修・資格】		体軸体操(たいじくベビー講師など)、感覚統合(SI)、ポータープログラム(ABA)、強度行動障害、虐待防止、救命講習など					